

まちづくり交付金 モニタリングシート  
浦添南第一地区

平成21年12月

沖縄県浦添市

様式3 モニタリング結果のまとめ

都道府県名	沖縄県		市町村名	浦添市		地区名	浦添南第一地区		面積	82.4ha						
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施予定時期	平成23年度	モニタリング実施時期	平成21年10月	交付対象事業費	1,744百万円	国費率	0.4						
1) 事業の進捗状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業			事業名			事業進捗の状況（順調か、遅れているか）									
	基幹事業			公園、高質空間形成施設（トンネル等修景整備）、土地区画整理事業			公園は未着手、土地区画整理事業は概ね順調。									
	提案事業			事業評価調査			順調									
	当初計画から削除した事業			事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	基幹事業			地域生活基盤施設（情報板整備）			将来的なモノレール延長の際に一体的に整備を行うことにより、効率良く整備することが可能であり、まち交付期間内での整備は行わない方針としたため		なし							
	提案事業			宅地利活用推進方策等検討調査、まちびらきイベント			宅地利活用推進方策等検討調査：地区内の大規模商業施設の開店や保留地販売に対するニーズが高く、また、将来的なモノレール延長の計画により宅地としての利用度が高くなってきているため まちびらきイベント：地区内への大規模商業施設誘致・開店に伴うインパクトが相当なイベントに該当するため		なし							
新たに追加した事業			基幹事業 提案事業			なし なし										
交付期間の変更			当初変更		平成19年度～23年度 平成 年度～ 年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位		従前値		目標値		モニタリング		目標		総合所見		今後の対応方針	
					基準年		目標年		計測年		達成見込み					
	指標1	建築棟数	棟	138	H18	210	H23	182	H21	あり	●	まちづくり交付金の導入により他補助事業との一体的な施行が行われ、土地区画整理事業の効果が発現し始めている。		今後も引き続き、土地区画整理事業を推進していく。		
	指標2	公園利用者数	人/月	0	H18	80	H23	0	H21	なし	●	事業未着手のため効果は発現していない。		土地区画整理事業を推進し、公園の早期完成を目指す。		
指標3	通過台数	台/h	421	H18	200	H23	444	H21	あり	●	地区内の都市計画道路が未完成のため、地区外住宅地内道路の抜け道化が進行している。		土地区画整理事業を推進し、都市計画道路の早期完成を目指す。指標の再検討。			
3) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位		従前値		目標値		モニタリング		目標		総合所見		今後の対応方針	
					基準年		目標年		計測年		達成見込み					
	その他の数値指標1															
	その他の数値指標2															
その他の数値指標3																
4) 定性的な効果発現状況	地区内居住者へのアンケート実施により、まちづくりに対する意見や関心、理解を得ることができた。															
5) 実施過程の評価	評価項目			実施状況				今後の対応方針等								
	モニタリング			交通量調査、工事進捗状況、地区内居住者アンケート等によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●				事後評価時においても、モニタリング同様に確認を行っていく。				
	住民参加プロセス			住民ワークショップ				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない ●				公園の実施設計にあたり、住民ワークショップを開催し、市民意向を踏まえた公園づくりに取り組んでいく予定。				
持続的なまちづくり体制の構築			地域まちづくり活動団体の立ち上げ				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない ●				地域が主体となった、地域まちづくり活動団体の立ち上げに向けて、今後模索していく。					
6) モニタリングの所見	総合所見		順調 ●		一部事業進捗に停滞が見られるが、それを除くと概ね順調に進んでいる。				今後の事業の改善点		都市計画道路及び生活道路を重点して施行、公園の早期完成。事業上、優先的に工事すべき箇所の選定及び施工の実施。情報板整備・宅地利活用推進方策等検討調査・まちびらきイベントの廃止、指数設定方法の変更					
			要改善													

# まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (5) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標3「通過台数」の定義、「通勤時における定点ポイントの通過自動車台数」	定義を、「定点ポイントにおける12時間交通量」に変更	目標の一つである「快適な生活道路空間の形成」の指標としては、通勤時以外の交通量も把握する必要があるため
C. 目標値	●		指標3「通過台数」の目標値、200台/h	目標値を、3,800台/12hに変更	指標の変更に伴う目標値の変更
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

(単位:百万円)

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業の見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
公園	2号街区公園 休憩施設、植栽等	80	2,500㎡	80	2,500㎡	なし	影響なし	●			H23年度事業着手、完成予定
地域生活基盤施設	情報板整備	8	10個	8	10個	将来的なモノレール延長の際に一体的に整備を行うことにより、効率良く整備することが可能であるため、まち交交付期間内での整備は行わない方針とし、事業を削除する。	影響なし	●			事業削除
高質空間形成施設	緑化施設等 (前田トンネルの修景整備)	25	植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等	25	トンネル坑口の修景、照明	なし	影響なし		●		H23年度完成に向けて事業推進中
土地区画整理事業 (都市再生)	浦添南第一地区 土地区画整理事業	1,611		1,611		なし	影響なし		●		H23年度完成に向けて事業推進中

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(単位:百万円)

事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業の見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造支援事業	宅地利活用推進方策等検討調査	6	早期市街化を推進するため、宅地の利活用を進める具体的な方策に関する検討を行う。	6	早期市街化を推進するため、宅地の利活用を進める具体的な方策に関する検討を行う。	地区内の大規模商業施設の開店や保留地販売に対するニーズが高く、また、将来的なモノレール延長の計画により宅地としての利用度が高くなってきていることから事業を削除する。	影響なし	●			事業削除
事業活用調査	事業評価	13	交付期間中の執行状況のチェック及び評価を行うための調査を実施する。	13	交付期間中の執行状況のチェック及び評価を行うための調査を実施する。	なし	影響なし		●		H23年度完成に向けて事業推進中
まちづくり活動推進事業	まちびらきイベント	1	都市計画道路の供用開始を広く市民に対し周知するとともに、本地区のPRもかねたイベントを行う。	1	都市計画道路の供用開始を広く市民に対し周知するとともに、本地区のPRもかねたイベントを行う。	地区内への大規模商業施設誘致・開店に伴うインパクトが相当なイベントに該当することから事業を削除する。	影響なし	●			事業削除

(単位:百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
土地区画整理事業(道路特会)		浦添南第一地区	30,281	30,281		H4~H25	都市計画道路が未完成	
浦添市公共下水道事業		浦添市内		27,180		S46~H22	順調	
浦添市都市計画公園整備事業		浦添市内		26,228		S62~H25	順調	
浦添市水道事業		浦添市内		8,371		H15~H30	順調	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		現段階での 目標達成 見込み		総合所見	今後の方針
			基準 年度		基準 年度		目標 年度		実施 年度		あり	なし		
指標1	建築棟数	件			138	H18	210	H23	182	H21	●		まちづくり交付金の導入により他補助事業との一体的な施行が行われ、土地区画整理事業の効果が発現し始めている。	今後も引き続き、土地区画整理事業を推進していく。
指標2	公園利用者数	人/月			0	H18	80	H23	0	H21	●		事業未着手のため、効果は発現していない。	土地区画整理事業を推進し、公園の早期完成を目指す。
指標3	通過台数	台/h			421	H18	200	H23	444	H21	●		地区内の都市計画道路が未完成のため、地区外住宅地内道路の抜け道化が進行している。	土地区画整理事業を推進し、都市計画道路の早期完成を目指す。指標の再検討。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		本指標を取り 上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準 年度		基準 年度		目標 年度		実施 年度				
その他の 数値指標1													
その他の 数値指標2													
その他の 数値指標3													

※(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

地区内居住者へのアンケート実施により、まちづくりに対する意見や関心、理解を得ることができた。
--

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
	予定どおり実施できた	●			
交通量調査、工事進捗状況、地区内 居住者アンケート等によるモニタリング	予定どおり実施できた		【実施頻度】交付期間内に1回 【実施時期】H21年9月 【実施結果】当初採用した指標のうち、「通過台数」においては定点ポイントの12時間の通過自動車台数に指標を変更した。それ以外の指標については、工事進捗状況等から交付期間中の変化を把握し、まちづくり交付金による効果の発現を確認することができた。		事後評価時においても、モニタリング同様に確認を行っていく。
	予定はなかったが実施した	●			

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
	予定どおり実施できた	●			
住民ワークショップ	予定どおり実施できた		【実施頻度】未定 【実施時期】H22年度予定		公園の実施設計にあたり、住民ワークショップを開催し、市民意向を踏まえた公園づくりに取り組んでいく予定。
	予定していなかったが実施した				
	モニタリング時点では実施していない	●			

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
			i. 体制構築に向けた 取組内容	ii. まちづくり組織名 : 組織の概要	
地域まちづくり活動団体の立ち上げ	予定どおり実施できた		未定	未定	地域が主体となった、地域まちづくり活動団体の立ち上げに向けて、今後模索していく。
	予定していなかったが実施した				
	モニタリング時点では実施していない	●			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
土地区画整理審議会	学識経験者、自治会代表、地権者代表	平成21年12月1日	区画整理課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標の種別 指標名	指標1 建築棟数		指標2 公園利用者数		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
			指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見						
基幹事業	公園(2号街区公園 休憩施設、植栽等)		—	まちづくり交付金の導入により他補助事業との一体的な施行が行われ、地区内の建築物棟数も増加し、まちづくり交付金による効果が発現し始めている。	—	事業未着手のため、効果は発現していない。						
	地域生活基盤施設(情報板整備)		—		—							
	高質空間形成施設(緑化施設等)		△		—							
	土地区画整理事業(都市再生区画整理事業)		◎		—							
提案事業	地域創造支援事業(宅地利用推進方策等検討調査)		—		—		—					
	事業活用調査(事業評価)		—		—		—					
	まちづくり活動推進事業(まちびらきイベント)		—		—		—					
関連事業	土地区画整理事業(道路特会)		—		—		—					
	浦添市公共下水道事業(汚水)		—		—		—					
	浦添市公共下水道事業(雨水)		—		—		—					
	浦添市都市計画公園整備事業		—	—	—							
	浦添市水道事業		—	—	—							

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
  - : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
  - △: 完成直後又は事業開始直後のため、効果の発現に至っていない。
  - ×: 事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
  - : 評価できない。
- 未着手又は事業中のため評価できない。  
事業と指標とに関係がないので評価できない。

今後の方針等	今後も引き続き、土地区画整理事業を推進していく。	今後事業を推進し、公園の早期完成を目指す。		
--------	--------------------------	-----------------------	--	--



#### (4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
公共施設の改善と宅地の区画形質の改善	交付対象事業の進捗とともに改善されつつある。	土地区画整理事業の推進	地区内に大規模商業施設が開店したことによる、来外者を起因とした地区内外幹線道路の渋滞
住民から利用される地域の緑の確保	交付対象事業未着手のため、改善されていない。	事業の早期着手	
通学路などの交通安全面に対する生活道路空間の悪化	関連事業である土地区画整理事業(特別会計)による都市計画道路が未完成のため、地区外住宅地内道路の抜け道化が進行している。	土地区画整理事業の推進、区画道路の早期完成	

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点		
		具体的項目	内容	
順調	●	事業の進め方の工夫	<p>都市計画道路及び生活道路を重点して施工を進めていく。また、事業上、優先的に工事すべき箇所を設定、施工を実施する。</p> <p>公園の早期完成を目指す</p>	<p>地区内居住者へのアンケートや事業上の優先順位を設定し、必要性の高い箇所を把握、重点的に整備していく。</p> <p>公園実施設計のためのまちづくりワークショップを開催、早急な整備を行う。</p>
計画・事業の進め方の改善が必要		都市再生整備計画の見直しの必要性	<p>情報板整備、宅地利活用推進方策等検討調査、まちびらきイベントの廃止</p> <p>指標の設定方法の変更</p>	<p>以下の理由により、各事業を廃止する。                      情報板整備：将来的なモノレール延長の際に一体的に整備を行うことにより、効率よく整備することが可能であるため                      宅地利活用推進方策等検討調査：地区内の大規模商業施設の開店や保留地販売に対するニーズが高く、また、将来的なモノレール延長の計画により宅地としての利用度が高くなってきているため                      まちびらきイベント：地区内への大規模商業施設誘致・開店に伴うインパクトが相当なイベントに該当するため</p> <p>指標3「通過台数」の定義及び目標値を変更する。</p>
一部事業進捗に停滞が見られるが、それを除くと概ね順調に進んでいる。				

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成22年1月	平成22年1月4日～29日	担当課への、電話・FAX・電子メール及び窓口対応	区画整理課
広報掲載・回覧・個別配布	市広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成22年1月			
説明会・ワークショップ					
その他	担当課窓口での閲覧	平成22年1月	平成22年1月4日～29日		

住民の意見	
-------	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
土地区画整理審議会	平成21年12月1日	区画整理課

有識者の意見	<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自転車で安全に過ごせるまちづくりの検討も行ってみたいのでは。</li> <li>○今回のモニタリング調査で把握した通過交通台数については、個人的に過去に同ポイントで調査したことがあったので、その数値と比べても適正である。通過交通を排除するために、経塚から施工していくという考えについては良いと思う。</li> <li>○まちづくり交付金の効果発現のために経塚から優先して施工していくのは分かるが、前田線の早期整備を行う必要もあるのでは。</li> </ul>
--------	---